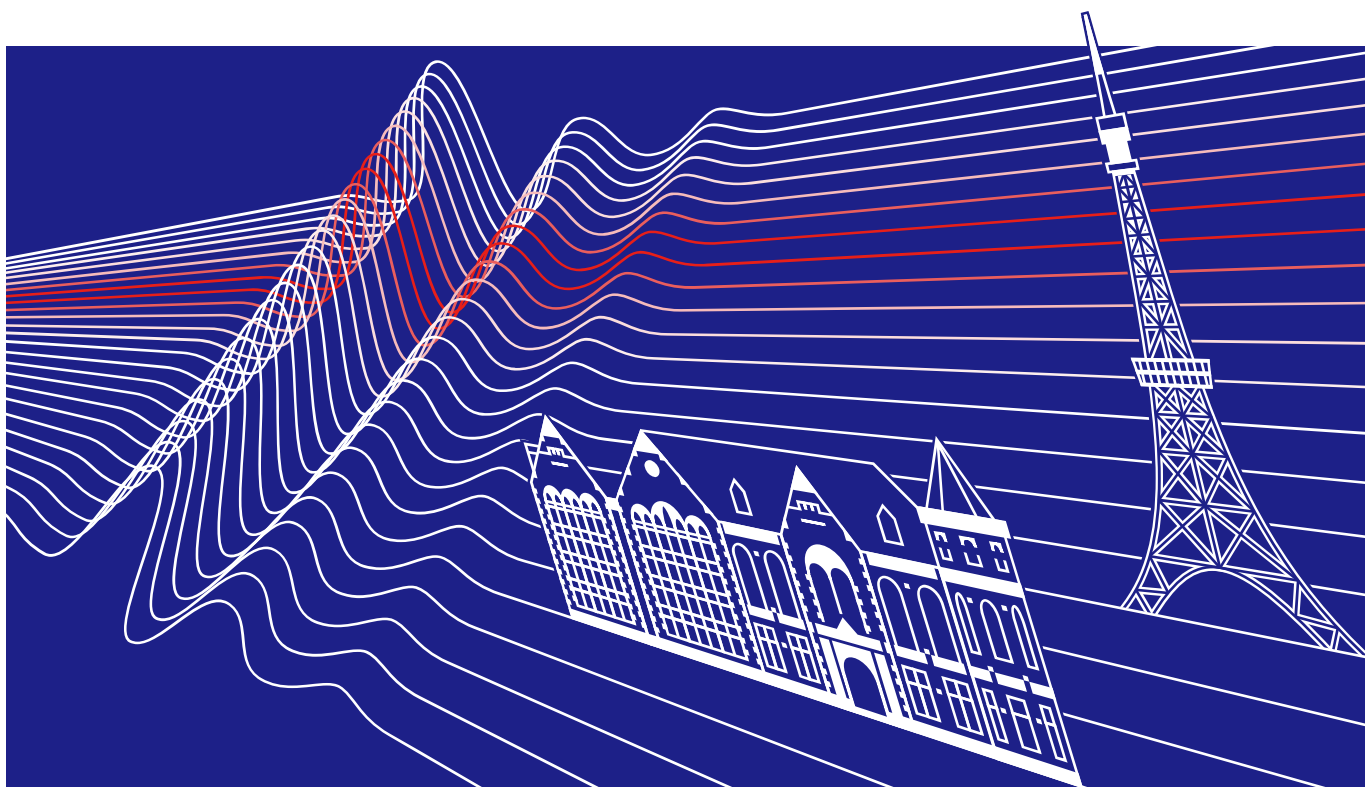


# 第41回日本生理心理学会大会 プログラム・予稿集

テーマ：融合する生理心理学



2023年5月20日(土),21日(日)

慶應義塾大学 三田キャンパス

## COVID RAPID DEPLOYMENT KIT

Expand your monitoring capacity while reducing staff burden



Remotely and safely assess  
a patient's changing  
health status

THE WORLDS MOST INNOVATIVE  
WIRELESS PATIENT MONITOR



Continuous “beat-by-beat” blood  
pressure and hemodynamics

輸入発売元 メディカルテクニカ株式会社

電話 048-928-0168

携帯 080-8435-2729

FAX 048-928-0253 (平素電源を切ってます)

<https://www.medicalteknika.jp/> facebook LinkedIn Blog Twitter

埼玉県草加市谷塚 1-13-13 [medicalteknika@icloud.com](mailto:medicalteknika@icloud.com)

## ご挨拶

この度、第41回日本生理心理学会大会を、慶應義塾大学文学部心理学研究室でお引き受けすることになりました。本学での日本生理心理学会の大会開催は今回が初めてになります。来る2023年5月20日（土）から5月21日（日）に、東京都心に位置する三田キャンパスでの「対面開催」を予定しております。前日の19日（金）には、若手研究者によるイベントを開催する予定です。

感染症に悩まされる日々も3年を超え、学会も対面開催が当たり前の時代から、オンライン開催、ハイブリッド開催など、さまざまな形式が模索されてきました。オンライン開催の良さに気づいた部分がある一方、賑やかなポスター発表や懇親会が懐かしく感じられ、以前のようなコミュニケーションを切望する声も高まっています。まだまだ、完全に従来の状態に戻すことはできないとしても、対面での社会的交流の良さを実感したい気持ちも強まりつつあります。そこで本大会は、完全対面開催を前提に、準備を進めてきました。今年に入り、幸い感染の再拡大の兆しも強くないことから、大学でのガイドラインも見直され、対面での大会開催に加え、久しぶりに懇親会も開催できる状況となっております。比較的アクセスのよい場所での開催でもありますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

本大会のテーマは「融合する生理心理学」といたしました。生理心理学の成果は、今や他の研究分野にも広く波及し、生理心理学的指標を用いる他分野・他領域の研究も増え続けています。そこで、そのような分野との連携を深め、生理心理学の新たな展開への期待を込めて、3つのシンポジウムを軸にプログラムを作成いたしました。具体的には、臨床科学との融合、発達科学との融合、感情科学との融合というテーマを設定しております。

準備委員会スタッフ一同、大会で皆様に快適で充実した時間をお過ごしいただけるように準備をいたします。会場でお会いできるのを楽しみにしております。

第41回日本生理心理学会大会  
大会長 梅田 聡

## 大会会場へのアクセス

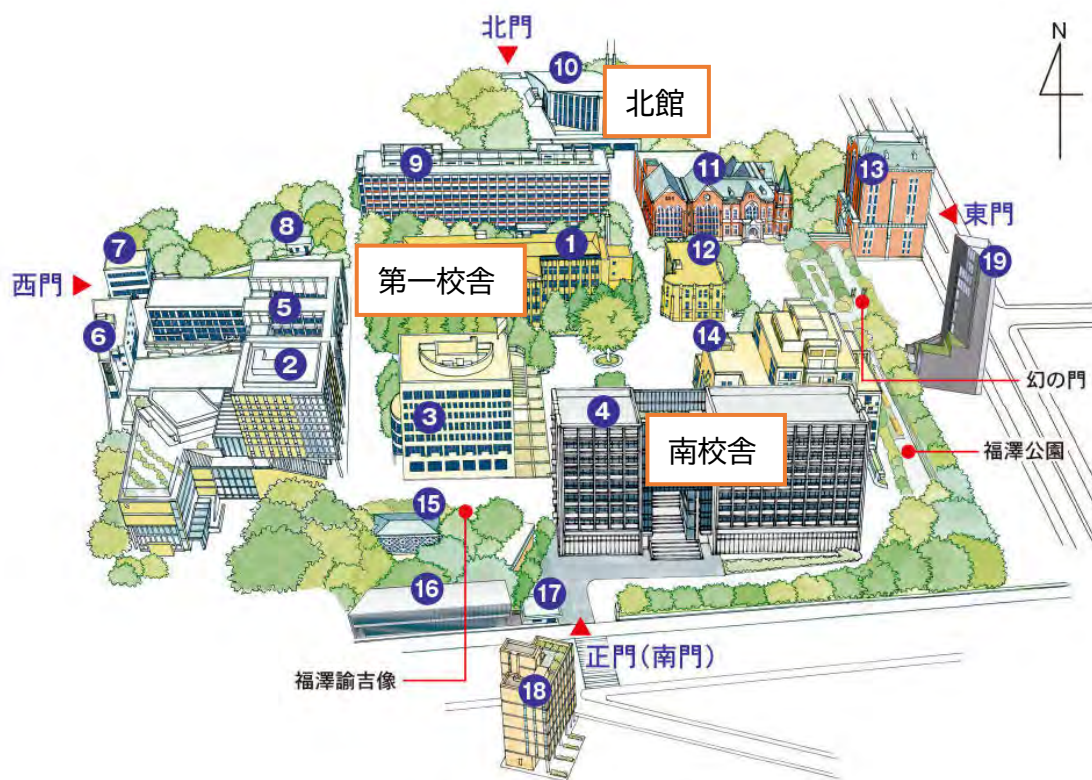
- ・会場は、慶應義塾大学三田キャンパス(〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45)です。
- ・最寄り駅と各駅からの所要時間は下記のとおりです。
  - 田町駅 (JR 山手線/JR 京浜東北線) 徒歩 8 分
  - 三田駅 (都営地下鉄浅草線/JR 都営地下鉄三田線) 徒歩 7 分
  - 赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩 8 分

### 主要駅と羽田空港および最寄り駅からのアクセス





## キャンパス案内図



- ・本大会は、上図①の第一校舎1階、④の南校舎4、5階で開催されます。
- ・編集委員会、理事会、若手の集いの会場は上図⑩の北館です。
- ・懇親会会場は、上図④南校舎4階 ザ・カフェテリアです。

- ・生協食堂は上図⑤の西校舎地下1階です。
- ・カフェ八角塔は上図⑪図書館旧館1階です。

- ・北門は日曜日は通行できません。

- ・上記の地図は、下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>



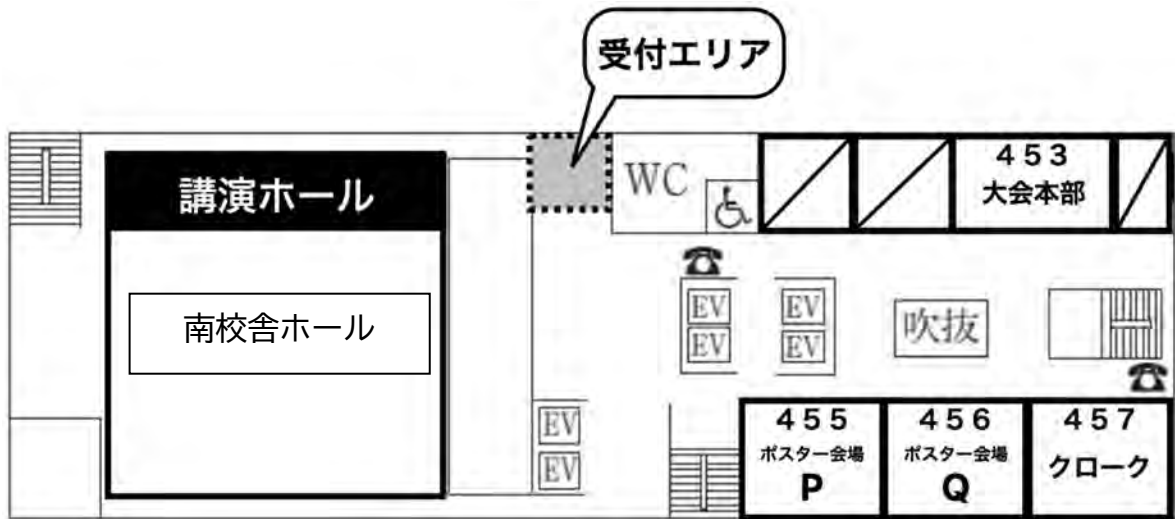
- ・バリアフリーマップは、下記の URL からご覧ください。

<https://www.diversity.keio.ac.jp/bf/bfmap/mitamap.pdf?202201>

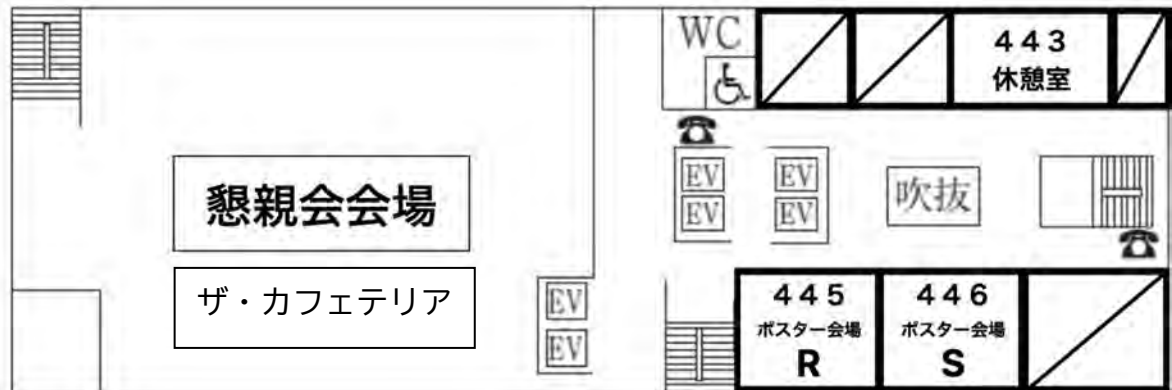


## 会場案内図（南校舎）

### 南校舎 5階

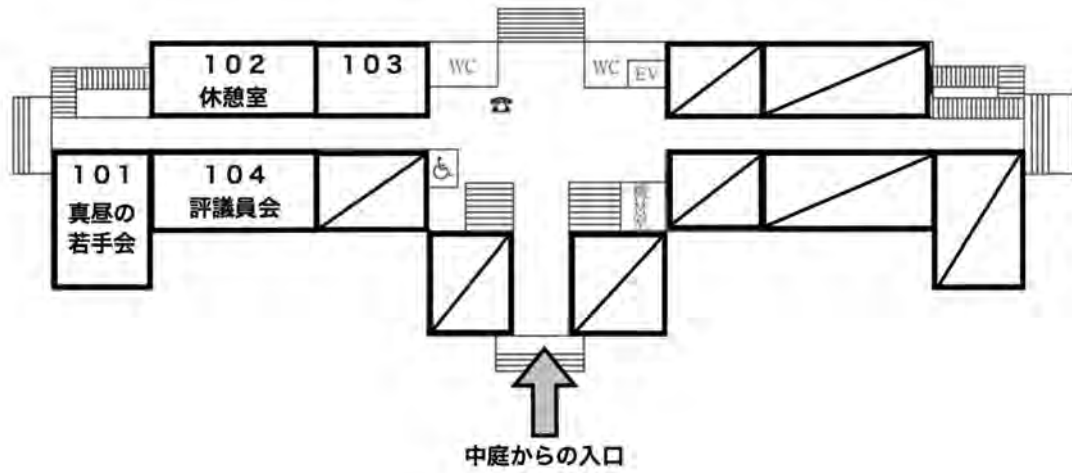


### 南校舎 4階

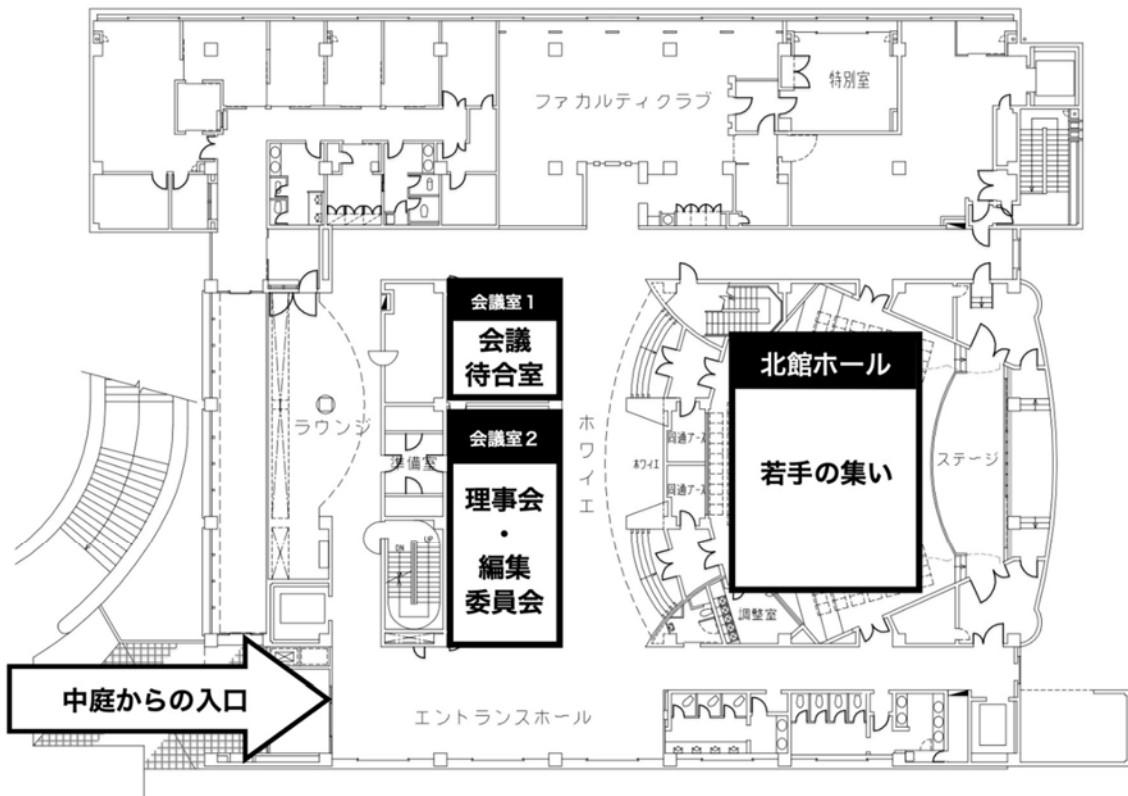


## 会場案内図（第1校舎・北館）

### 第1校舎1階



### 北館1階



## 大会スケジュール

	プレカンファレンス 5月19日 (金)	大会1日目 5月20日 (土)	大会2日目 5月21日 (日)
8:30			ポスター掲示(8:30-17:00)
9:00			
9:30		ポスター掲示(9:45-17:00)	シンポジウム② 内受容感覚研究のスコープ 9:00-11:00 場所:南校舎5F 南校舎ホール
10:00			
10:30			
11:00		ポスター発表A 10:15-12:15 南校舎4F、5F	総会 11:10-12:10 南校舎ホール
11:30			
12:00			
12:30			
13:00		真昼の若手会 12:30-13:45 第1校舎 101教室	シンポジウム③ 生理心理学からとらえる生涯 発達 12:30-14:30 場所:南校舎5F 南校舎ホール
13:30			
14:00			
14:30			
15:00		シンポジウム① 臨床生理心理学の展開 14:30-16:40 場所:南校舎5F 南校舎ホール	ポスター発表B 14:45-16:45 南校舎4F、5F
15:30			
16:00	若手の集い 15:30-17:30 場所:北館ホール		
16:30			
17:00			
17:30		懇親会 17:00-19:00 場所:南校舎4F ザ・カフェテリア	
18:00			
18:30			
19:00			

編集委員会 : 5月19日(金) 15:00-16:30 北館 会議室2 (待合室 会議室1)

理事会 : 5月19日(金) 16:40-18:10 北館 会議室2 (待合室 会議室1)

評議員会 : 5月20日(土) 12:30-14:00 第一校舎 104教室



## 大会参加者へのご案内

### 1. 大会受付

#### (1) 場所・日時

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 5階

詳細はキャンパス案内図、会場案内図をご覧ください。

日時：2023年5月20日（土） 9:00-17:30

5月21日（日） 8:20-17:00

※ 5月19日（金）のプレカンファレンス時には設けておりませんのでご注意ください。

### 2. 受付手続き

#### 大会の受付

#### (1) 予約参加・通常参加申込の方

- ・ 受付に立ち寄る必要はございません。そのまま会場へお進みください。大会中は事前にダウンロードし、ご自身で印字された参加章(名札)を必ず身につけてください。ネームホルダは会場に用意しております。プログラム冊子(予稿集を含む)をご要望の方は、受付にご用意しております。先着順でお配りしますので、品切れの際はご容赦ください。学部生には配布できません。参加費・懇親会費のお支払いがお済みでない方は、受付にお立ち寄りください。

#### (2) 現地参加の方

- ・ 受付前のテーブルに用意された当日参加申込書に必要事項を記入し、「当日参加」と書かれた受付にて大会参加費を添えてお申し込みのうえ、参加章(名札)をお受け取りください。参加章(名札)にはお名前とご所属を記入し、大会中は必ず身につけてください。ネームホルダは会場に用意しております。プログラム冊子(予稿集を含む)をご要望の方は、受付にご用意しております。先着順でお配りしますので、品切れの際はご容赦ください。学部生には配布できません。
- ・ 現地参加申込の場合は、現金でのお支払いをお願いいたします。

#### (3) 名誉会員の方および終身会員の方

- ・ 受付にお申し出ください。

#### 懇親会の受付

- ・ 懇親会は5月20日(土)の17時から南校舎4階、ザ・カフェテリアで開催されます。
- ・ 16時30分から開場します。

### 3. 大会参加費

- ・ 大会参加費は次の通りです。なお、大学院生・学部学生の方は学生証を提示してください。ご提示いただけない場合は、一般の費用をお支払いいただく場合がございます。

#### (1) 大会参加費（現地・当日）

会員：一般	6,000 円
会員：院生	6,000 円
非会員：一般	7,000 円
非会員：院生	7,000 円
学部生	無料

#### (2) 懇親会

- ・ 残席がある場合のみ、当日大会受付にてお申込みを承ります。現金でのお支払いをお願いいたします。

一般(会員・非会員とも)	7,000 円
学部生・大学院生	3,500 円

### 4. クローク

- ・ クロークは、南校舎 5 階 457 番教室にございます。利用可能時間は、5 月 20 日（土）9:00-19:15 と 5 月 21 日（日）8:20-17:00 です。5 月 19 日（金）のプレカンファレンス時には設けておりませんのでご注意ください。貴重品の管理はご自身でお願いします。

### 5. 各種お知らせ

#### (1) 総会

- ・ 大会 2 日目、21 日（日）のお昼の時間帯（11:10-12:10）に南校舎 5 階 南校舎ホールで行われます。大会に参加されている会員の皆様はご参加ください。

#### (2) 委員会等各種会合

- ・ 大会スケジュールのページ下部に示しております。関係の皆様は、万障お繰り合わせのうえご出席ください。

#### (3) 真昼の若手会

- ・ 日本生理心理学会では、若手研究者の研究活動の促進を目指して、若手研究者同士の交流・懇親を行っています。若手研究者の皆さま、お誘い合わせの上ご参加ください。

#### (4) 展示・販売

- ・ 協賛企業による機器展示・販売はポスター会場と受付前・休憩室にて行われます。是非お立ち寄りください。

#### (5) 昼食

- ・ キャンパス内の食堂は、生協食堂(西校舎地下 1 階: キャンパス案内図⑤、営業時間 11:00-14:00)、カフェ八角塔(旧図書館 1 階: キャンパス案内図⑪、営業時間 10:00-18:00、席数はあまり多くありません)、が土曜日のみ営業しています。いずれも日曜日は営業していません。
- ・ 土曜・日曜ともに生協購買部は営業していません。
- ・ 正門、東門から田町駅・三田駅に向かう方面にレストランやコンビニがあります。オフィス街のため、日曜日の営業については検索サイトなどでご確認の上、ご利用になることをおすすめします。

#### (6) 無線 LAN

- ・ eduroam の利用が可能です (<https://www.eduroam.jp/>)。ご自身の所属機関で事前に利用法をご確認ください。
- ・ キャンパス内の無線用ゲストアカウントも利用することが可能です。SSID、パスワードは会場の掲示をご確認ください。

#### (7) 託児室

- ・ 大会期間中、託児業者に委託して託児室を開設します。ご利用を希望される方は大会ウェブページをご参照ください。

#### (8) その他

- ・ キャンパス内に一般の方が利用できる駐車場はございません。
- ・ 校舎内は禁煙です。喫煙所はキャンパス内に一か所のみです。キャンパスマップ中の⑥の購買施設棟の周辺でございます。
- ・ 大会当日、大会委員会へのご連絡は大会準備委員会メールアドレス宛 (jspp2023-group@keio.jp) をお願いします。発表取消など緊急の要件にのみご利用ください。

## 研究発表者へのご案内

### 1. ポスター発表

- ・ ポスター発表は、南校舎 4 階、5 階の会場で行われます。ポスターはご自身の演題番号のついたパネルに発表時間までに掲示してください。発表番号の前のアルファベットが A の場合は大会 1 日目、B の場合は大会 2 日目の発表です。発表番号の数字に応じて、下記から会場をご確認ください。たとえば、A1\_の方は P 会場、B25\_の方は R 会場です。

P 会場：5 階 455 教室	ポスター番号 1～11
Q 会場：5 階 456 教室	ポスター番号 12～22
R 会場：4 階 445 教室	ポスター番号 23～33
S 会場：4 階 446 教室	ポスター番号 34～44

- ・ 掲示用ボードのサイズは、ヨコ 90 c m×タテ 180 c mです。このサイズに収まるようにご作成ください。ポスターの最上段に、発表題目と発表者全員の氏名および所属を示してください。連名発表の場合、主発表者の氏名の前に○をつけてください。ポスター貼付用のピンは会場にご用意いたします。会場での印刷は致しかねます。
- ・ 120 分間のポスターセッション中、発表番号が奇数の方は前半の 60 分間が、偶数の方は後半 60 分間が責任在席時間です。
- ・ ポスター発表会場は発表時間にかかわらず、大会 1 日目 (5/20) は 9 時 45 分から 17 時まで、大会 2 日目 (5/21) は 8 時 30 分から 17 時まで使用できます。発表者の方は上記の時間帯にポスターを掲示し、自由にディスカッションしていただいてもかまいません。なお、時間を過ぎても掲示されているポスターは大会実行委員会が撤去・処分いたします。悪しからずご了承ください。

### 2. ポスター発表の発表論文集原稿の提出について

本大会における発表を公式に記録するためには、以下の 3 点が必要です。

- ① 研究発表登録と予約参加申込
- ② 本大会における発表
- ③ 発表論文集原稿の提出

発表論文集原稿の提出期限および提出先詳細は以下の通りです。

1. 発表論文集原稿を大会ウェブページ、演題募集ページからダウンロードしてください。
2. 下記 URL から Dropbox (オンラインストレージサービス) に原稿 (Word ファイル) をアップロードしてください。その際、ファイル名は「演題番号-主発表者」にしてください (例: 「A1-生心太郎」)。投稿時に氏名とメールアドレスをご入力ください。Dropbox のアカウントは必要ありません。2023 年 5 月 21 日 (日) までは何度でも差し替えが可能です。差し替える場合は、新しいファイルを Dropbox に再アップロードしてください。編集部にご連絡い



ただく必要はありません。アップロードされた最も新しいファイルが入稿されます。発表論文原稿提出に関するお問い合わせは、編集事務局(jjppp@seirishinri.com)までメールでお知らせください。

発表論文原稿提出用 URL <https://www.dropbox.com/request/n60FokVAWy5phBEfmpCb>

### 3. シンポジウム

- ・ 会場に Windows ノート PC を 1 台ご用意いたします。使用可能なソフトウェアは PowerPoint です。なお、発表会場には HDMI 接続ケーブルが備え付けられており、持参したノート PC のご使用も可能です。ただし、Mac の場合は正常動作の確約ができないため、変換ケーブルをご持参のうえ、自己責任でご使用ください。会場ノート PC を使用される方は、ご発表前に USB メモリ等にデータを入れてご持参のうえ、あらかじめ PC にコピーし、動作確認をお願いします。
- ・ シンポジウムの進め方は、各シンポジウムの座長よりご案内いたします。

### 4. 発表の取り消しについて

- ・ 何らかの事情により、参加・発表の取り消しを希望される方は、できるだけ早く大会準備委員会メールアドレス宛 (jspp2023-group@keio.jp) にお知らせください。
- ・ なお、参加・発表申し込み期限内に登録を完了され、参加・発表期限後に、参加・発表を取り消される場合は、すでに入金いただいた参加費等の返金については対応することができません。予めご了承のほどお願いいたします。

# 発表プログラム

## シンポジウム

### シンポジウム 1： 臨床生理心理学の展開

5月20日(土) 14:30-16:40 南校舎 5F 南校舎ホール

座長：

梅田 聡 (慶應義塾大学 文学部心理学専攻)

神経疾患における精神性発汗

朝比奈正人 (金沢医科大学 医学部脳神経内科学)

頭痛について～基本から最新 topics まで～

滝沢 翼 (慶應義塾大学 医学部神経内科)

語の想起過程と生理的活性化

黒崎芳子 (北海道医療大学 リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科)

睡眠不足時の脳機能

元村祐貴 (九州大学大学院 芸術工学研究院人間生活デザイン部門)

### シンポジウム 2： 内受容感覚研究のスコープ

5月21日(日) 9:00-11:00 南校舎 5F 南校舎ホール

座長：

寺澤悠理 (慶應義塾大学 文学部心理学専攻)

内受容感覚と認知フィーリング

鈴木啓介 (北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター)

心の背景を測る：内受容感覚の電気生理的指標

福島宏器 (関西大学 社会学部)

内受容感覚の理解に向けた発達の検討

磯村朋子 (名古屋大学大学院 情報学研究科)

### シンポジウム 3：生理心理学からとらえる生涯発達

5月21日(日) 12:30-14:30 南校舎 5F 南校舎ホール

座長：

北 洋輔（慶應義塾大学 文学部心理学専攻）・軍司敦子（横浜国立大学 教育学部）

fNIRS の血行動態信号は乳児脳機能発達の何を解明するか

皆川泰代（慶應義塾大学 文学部心理学専攻）

子どもの言語発達と自閉スペクトラム症の特性の見える化：小児用脳磁図を用いて

吉村優子（金沢大学 人間社会研究域学校教育系）

fMRI でとらえる視覚野発達 - 自閉スペクトラム症と定型発達の比較から

岡本悠子（順天堂大学 スポーツ健康医科学推進機構）



## 日本生理心理学会若手会企画 「若手の集い」

5月19日(金) 15:00-17:30 北館 北館ホール

企画者：山川 香織（東海学園大学 心理学部）

木村 司（大阪大学 産業科学研究所）

伏田 幸平（文京学院大学 人間学部）

森本 文人（仁愛大学 人間学部）

### <研究発表1>

社会的な心の痛みの緩和－人間関係・身体情報からのアプローチ－

伊崎 翼（高知工科大学 経済・マネジメント学群）

### <研究発表2>

Tsukuba 情動系ラットの向社会的行動に関する諸検討

山岸 厚仁（仁愛大学 人間学部）

## 一般研究発表 ポスター発表 A

5月20日(土) 10:15-12:15

**A1: アブラコウモリの個性に関する定量評価の可能性—発声パターンと心拍数の測定—**

西内唯夏 同志社大学生命医科学部  
橋澤寿紀 同志社大学生命医科学研究科  
小林耕太 同志社大学生命医科学部  
飛龍志津子 同志社大学生命医科学部

**A2: ラットにおける自発的輪回し行動がインターバルタイミングに与える影響**

佐藤暢哉 関西学院大学文学部  
吉本佳穂 関西学院大学文学部  
吉永雄大 関西学院大学文学研究科

**A3: ラットの思春期におけるニコチン・エタノール暴露がニコチン依存脆弱性に及ぼす影響**

山田一夫 筑波大学人間系  
豊福涼太 筑波大学人間学群  
下田翔太 筑波大学人間総合科学研究科  
土田玲菜 筑波大学人間総合科学学術院

**A4: 就寝時の音楽聴取が睡眠に及ぼす影響**

福田一彦 江戸川大学社会学部  
早川こすず 江戸川大学社会学部

**A5: 夢と問題解決能力の関連に関する予備的検討**

高原円 福島大学共生システム理工学類  
長沼利歩 福島大学共生システム理工学類  
中村柊太 福島大学共生システム理工学類

**A6: 統合情報理論にもとづく意識の神経基盤の探索—双方向結合コアを用いた検証—**

小野田慶一 追手門学院大学心理学部

**A7: 開始合図の有無が運動想像に与える影響の検討**

齊藤隼人 名古屋大学情報学研究科心理認知科学専攻

川合伸幸 名古屋大学大学院情報学研究科

**A8: 異なる周波数の点滅照明下における静止画像に対する運動錯視の感じ方**

小崎智照 福岡女子大学国際文理学部

弘光春奈 福岡女子大学国際文理学部

妹尾武治 九州大学芸術工学部

北岡明佳 立命館大学総合心理学部

**A9: 3D スキャナと 3D プリンタによる個人用脳波電極ホルダー制作の試み**

宮地弘一郎 信州大学学術研究院教育学系

蛭田直 神戸芸術工科大学芸術工学部

山下健 椋山女学園大学生生活科学部

堅田明義 中部学院大学

渡邊流理也 新潟大学人文社会科学系

**A10: マスクの色が顔認識に与える影響-ERP を用いた検討-**

橋本翠 吉備国際大学大学院心理学研究科

坂本蓮 吉備国際大学大学院心理学研究科

**A11: 表面特徴が異なる物体間の境界特徴に基づく注意誘導過程**

河西哲子 北海道大学大学院教育学研究院

小林慧 北海道大学大学院教育学院

小川直輝 北海道大学教育学部

**A12: フランカー課題の不一致刺激に対する視覚ミスマッチ陰性電位**

鈴木浩太 四天王寺大学教育学部

**A13: 注意の分散が不快画像の評価に及ぼす影響 一聴覚刺激を用いた検討一**

菱川慶人 広島大学大学院人間社会科学研究科

小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科

**A14: 潜在学習により新しい和音遷移パターンは獲得されるか?**

石田海 大阪大学大学院人間科学研究科

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**A15: 平仮名・片仮名文読解におけるクラウドニング現象の検討～眼球関連電位の解析から～**

関口真央 横浜国立大学教育学部

軍司敦子 横浜国立大学教育学部

**A16: 内受容感覚の鋭敏さがリズムへの同調運動の精度に与える影響**

富田健太 名古屋大学大学院 情報学研究科・日本学術振興会

大平英樹 名古屋大学大学院 情報学研究科

**A17: 動脈血圧反射が不快刺激への注意配分に与える影響**

伊崎翼 高知工科大学 経済・マネジメント学群

石井圭 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門

浅原亮太 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門

木村健太 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門

**A18: ポータブル瞳孔計を用いた環境音の感情評価の試み**

山田富美雄 関西福祉科学大学

浦谷崇人 ウラタニラボ

**A19: 自動車運転時の不安がパフォーマンスに及ぼす影響の検討**

道田奈々江 マツダ株式会社 技術研究所

古谷庸介 マツダ株式会社 技術研究所

岡本宜久 マツダ株式会社 技術研究所

永原宙 マツダ株式会社 技術研究所

定藤規弘 生理学研究所 心理生理学研究部門

**A20: 嫌悪的状況からの回避可能性の有無が驚愕反射に及ぼす影響**

前田真 慶應義塾大学文学部

梅田聡 慶應義塾大学文学部

**A21: 乳児顔に対する表情筋反応は随意的に表出する微笑よりも小さい**

八木（大橋）紅音 大阪大学大学院人間科学研究科

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科



**A22: かわいい動物写真を見ているときの表情変化：画像解析による検討**

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

北村明日香 大阪大学人間科学部

井原なみは 大阪大学大学院人間科学研究科

**A23: 内受容感覚の精度を測定する心拍検出課題における信頼性の問題と提案**

品川和志 慶應義塾大学社会学研究科

櫻木麻衣 慶應義塾大学社会学研究科

石川直樹 慶應義塾大学社会学研究科

寺澤悠理 慶應義塾大学文学部

梅田聡 慶應義塾大学文学部

**A24: 息苦しさと不安傾向の関連性 -エラー関連陰性電位を用いた検討-**

田仲祐登 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

高尾美月 慶應義塾大学文学部

梅田聡 慶應義塾大学文学部

寺澤悠理 慶應義塾大学文学部

**A25: 意思決定の時間圧は心臓内受容信号によるリスク選好の上昇を調節する**

木村健太 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門

片平健太郎 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門

**A26: タッチが引き起こす生理状態及びそれに関わる文脈と個人特性**

生形咲奈 所属なし

磯村朋子 名古屋大学情報学研究科

**A27: 電流刺激に対する顔面および指尖皮膚血流の反応性の検討**

石川直樹 慶應義塾大学社会学研究科／日本学術振興会

櫻木麻衣 慶應義塾大学社会学研究科

品川和志 慶應義塾大学社会学研究科

梅田聡 慶應義塾大学文学部

**A28: 生理指標および主観的指標に基づくアルファ波パワーの予測**

許鈺婷 (Xu Yuting) 東京大学情報理工学系研究科

川島朋也 大阪大学大学院人間科学研究科

山下歩 東京大学情報理工学系研究科

天野薫 東京大学情報理工学系研究科

**A29: 快情動経験時の表情認知過程の視線行動**

安達勁亮 東京理科大学大学院創域理工学研究科

柏美優 東京理科大学大学院創域理工学研究科

小黒-安藤麻美 University of Exeter, College of Medicine and Health

市川寛子 東京理科大学創域理工学部

**A30: 視線が視覚刺激と聴覚刺激の連合の記録に及ぼす影響—事象関連電位を用いた検討—**

福島彬文 広島大学大学院人間社会科学研究科

久米橋奈々 広島大学総合科学部

町田章 広島大学大学院人間社会科学研究科

小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科

**A31: 社会的重要性が展望記憶想起時の生理指標に及ぼす影響**

隅谷結友 広島大学大学院人間社会科学研究科

小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科

**A32: ネガティブ表情を伴う視線手がかり効果と不安傾向：EEG/ERP を用いた検討**

辻幸樹 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

大隅尚広 千葉大学文学部

柴田みどり 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

梅田聡 慶應義塾大学文学部

**A33: 特殊詐欺電話聴取時の被害者の心理的・生理的な特徴に関する分析**

近野恵 富士通株式会社コンバーGINGテクノロジー研究所

井手健太 富士通株式会社コンバーGINGテクノロジー研究所

吉岡隆宏 富士通株式会社コンバーGINGテクノロジー研究所

白石壮太 富士通株式会社コンバーGINGテクノロジー研究所

粟井修司 富士通株式会社コンバーGINGテクノロジー研究所

紺野剛史 富士通株式会社コンバーGINGテクノロジー研究所

桐生正幸 東洋大学大学院社会学研究科

**A34: 反応要求の違いが非関連有意刺激への生理反応に及ぼす影響**

小川時洋 科学警察研究所情報科学第一研究室  
渋谷友祐 鳥取県警察本部科学捜査研究所  
常岡充子 科学警察研究所情報科学第一研究室  
高橋玲央 科学警察研究所情報科学第一研究室

**A35: 隠匿情報検査時の返答の違いが呼吸系指標の時間的变化に与える影響**

世良真一郎 徳島県警察本部刑事部科学捜査研究所

**A36: 道徳観を偽る時の前頭部脳活動の検討**

岸靖亮 豊岡短期大学通信教育部  
後藤広太郎 東京農業大学生物産業学部（教職課程）  
長沼優月 東京農業大学生物産業学部  
山中楓夏 東京農業大学生物産業学部  
多田雄治郎 東京農業大学生物産業学部

**A37: 喫煙習慣およびレジリエンスの高低と唾液中コルチゾール反応の関係**

上野将玄 公益財団法人たばこ総合研究センター 研究部

**A38: 寒冷昇圧ストレス状況下での利他的行動**

永岑光恵 東京工業大学 リーダーシップ教育院/リベラルアーツ研究教育院  
劉家シン 東京工業大学 環境・社会理工学院

**A39: 首尾一貫感覚とライフスタイルとの関連について**

内田誠也 (一財)MOA 健康科学センター

**A40: マインドフルネス実践中の自律神経活動の評価ー心拍変動コヒーレンスの分析ー**

橋井大輔 愛知学院大学心身科学部心理学科心理学専攻

**A41: フィールド測定による勤労者の生理・行動指標と気分の関係の探索**

堂畑菜由 東京大学 総合文化研究科  
谷部好子 東京大学 総合文化研究科  
中澤公孝 東京大学 総合文化研究科

**A42: 連続スプリント運動中の認知成績と運動成績の関係**

白井祐介 東海学園大学スポーツ健康科学部

## 一般研究発表 ポスター発表 B

5月21日(日) 14:45-16:45

**B1: セボフルランの中長期的抗不安作用に関する機能的神経ネットワーク解析**

新倉怜 横浜市立大学医学研究科

宮崎智之 横浜市立大学医学研究科

高瀬堅吉 中央大学文学研究科

後藤隆久 横浜市立大学医学研究科

**B2: Tsukuba 情動系ラットの社会的条件性場所選好についての検討**

山岸厚仁 仁愛大学人間学部心理学科

**B3: 睡眠と記憶の再構成に関する研究知見の統合**

野添健太 江戸川大学

**B4: マインドワンダリングおよび脳活動指標による入眠潜時の推定**

別府翔太 駒澤大学大学院人文科学研究科

岩城達也 駒沢大学文学部

**B5: 睡眠習慣および課題実施タイミングが言語音を妨害刺激とした際の記憶成績に与える影響**

浅岡章一 江戸川大学睡眠研究所・江戸川大学人間心理学科

鳴海茉紘 江戸川大学人間心理学科

西村律子 江戸川大学睡眠研究所・江戸川大学人間心理学科

野添健太 江戸川大学睡眠研究所・江戸川大学人間心理学科

**B6: 手に対する所有感の神経基盤を再考する：因果構造の整理と先行研究データの二次分析**

山縣豊樹 北海道大学大学院文学研究科

水鳥翔伍 北海道大学大学院文学院

小川健二 北海道大学大学院文学研究院

**B7: 欠落刺激電位に及ぼす課題関連性の効果**

石田友美 大阪大学大学院人間科学研究科

入野野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B8: 逸脱刺激処理における刺激の感情的内容と課題難度の効果：事象関連脳電位を用いた検討**

真田原行 関西学院大学文学部

片山順一 関西学院大学文学部・関西学院大学応用心理科学研究センター

**B9: 眼球停留関連脳電位算出における垂直眼球運動の利用可能性**

伏田幸平 文京学院大学人間学部

**B10: ハッドセット型脳波計によるレンズ度数誤差に対する視覚誘発電位と心拍変動の相関解析**

小崎瑞貴 東海光学株式会社脳科学推進室

水野嶺 東海光学株式会社脳科学推進室

鈴木雅也 東海光学株式会社脳科学推進室

**B11: 自己の連続的動作に応じて変化する音に対する ERP の減衰：音が課題非関連の場合**

杉本史恵 産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター

木村元洋 産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター

武田裕司 産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター

**B12: 自動車ドライバーの注意資源配分量を視覚・認知・運動処理ごとに評価する**

木村元洋 産業技術総合研究所

木村健太 産業技術総合研究所

武田裕司 産業技術総合研究所

**B13: 生活環境音の組み合わせが聴覚認知に及ぼす影響**

高須絢子 日本大学大学院総合基礎科学研究科

白川由佳 慶應義塾大学文学部心理学専攻, 日本学術振興会特別研究員,

日本大学文理学部自然科学研究所

北洋輔 慶應義塾大学文学部心理学専攻, 日本大学文理学部自然科学研究所,

ヘルシンキ大学医学部

斎藤稔 日本大学大学院総合基礎科学研究科

**B14: 文字列処理における単語優位性効果と空間的注意**

奥村安寿子 北海道大学大学院教育学院／東京大学大学院総合文化研究科

河西哲子 北海道大学教育学研究院

**B15: N400 成分を指標とした文脈使用の方略が意味処理プロセスに及ぼす影響の検討**

伊藤晴香 筑波大学大学院障害科学学位プログラム

青木真純 東京学芸大学障がい学生支援室

岡崎慎治 筑波大学人間系

**B16: 課題の特性をフロー、メンタルワークロード、心拍数から評価する**

本多麻子 東京成徳大学応用心理学部

**B17: 森林音と都市音の聴取が心拍・事象関連電位・気分に及ぼす影響**

新井奏音 大阪大学大学院人間科学研究科

梅垣佑介 奈良女子大学人間文化総合科学研究科心身健康学専攻臨床心理学コース

芝崎学 奈良女子大学大学院工学系工学領域

中田大貴 奈良女子大学大学院工学系工学領域

久保博子 奈良女子大学大学院工学系工学領域

入戸野宏 大阪大学人間科学研究科人間科学専攻

**B18: 経験の違いが危険判断時の着眼点の違いをもたらすのか—キャンプ場面の視線計測—**

岡本尚子 立命館大学産業社会学部

黒田恭史 京都教育大学教育学部

**B19: パッケージデザインの心理生理学的評価（1）：視認・好感・伝達の3側面からの検討**

新堂徒夢 アース製薬株式会社 マーケティング総合企画本部

コンシューマーマーケティング部

水落亮平 アース製薬株式会社 マーケティング総合企画本部

コンシューマーマーケティング部

入戸野宏 大阪大学大学院 人間科学研究科

**B20: パッケージデザインの心理生理学的評価（2）：実際の商品への適用**

水落亮平 アース製薬株式会社

新堂徒夢 アース製薬株式会社

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B21: 時間的予測と心臓からの内受容信号間の相互作用**

木村司 大阪大学産業科学研究所

**B22: 呼吸位相と心拍位相が視覚刺激の弁別精度に及ぼす影響**

水原啓太 大阪大学大学院人間科学研究科／日本学術振興会特別研究員  
入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B23: 心拍との同期が刺激の印象評価に及ぼす影響**

柴田浩史 名古屋大学情報学研究科  
大平英樹 名古屋大学情報学研究科

**B24: リスク志向と回避の切り替えに関わる自律系神経生理反応と不安**

曾雌崇弘 目白大学外国語学部  
永岑光恵 東京工業大学リーダーシップ教育院/リベラルアーツ研究教育院

**B25: 触覚刺激の閾下呈示が自律神経活動に変化を及ぼす可能性**

櫻木麻衣 慶應義塾大学 社会学研究科  
梅田聡 慶應義塾大学文学部

**B26: Switching 刺激と Feedback 刺激による前部島皮質の活動差**

小谷泰則 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院  
大上淑美 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院  
吉田宜清 東京大学医科学研究所  
赤井宏行 東京大学医科学研究所  
國松聡 国際医療福祉大学医学部  
桐生茂 国際医療福祉大学医学部  
井上優介 北里大学医学部

**B27: 前部島皮質の右半球優位性と相関する刺激先行陰性電位 (SPN)**

大上淑美 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院  
小谷泰則 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院  
吉田宜清 東京大学医科学研究所  
赤井宏行 東京大学医科学研究所  
國松聡 国際医療福祉大学医学部  
桐生茂 国際医療福祉大学医学部  
井上優介 北里大学医学部

**B28: 協同他者との空間的距離は責任帰属によるネガティブな結果の評価に影響を与えるのか？**

坂本蓮 吉備国際大学 大学院 心理学研究科

橋本翠 吉備国際大学 大学院 心理学研究科

**B29: Big6 性格特性とエラーモニタリングとの関係**

丸尾祐矢 東京女子体育大学体育学部

正木宏明 早稲田大学スポーツ科学学術院

**B30: 複数の他者の顔表情に対する早期 ERP と情動的共感性の関連**

小林慧 北海道大学大学院教育学院

河西哲子 北海道大学大学院教育学研究院

**B31: 感覚処理感受性と共感性および生理的喚起水準の関連**

吉村悠希 仁愛大学 大学院 人間学研究科

大森慈子 仁愛大学人間学部心理学科

水田敏郎 仁愛大学人間学部心理学科

**B32: オンラインによる反応時間を指標とした隠匿情報検査の可能性の検討(3)**

水師葉月 広島修道大学大学院人文科学研究科

古満伊里 広島修道大学健康科学部

**B33: 快及び不快画像呈示に対する事象関連電位への Dark Triad の影響**

平伸二 福山大学人間文化学部

白尾綾音 福山大学大学院人間科学研究科

濱本有希 福山大学人間文化学部

大杉朱美 福山大学人間文化学部

**B34: マネキン課題における接近と回避の葛藤を反映する指標の検討**

松田いづみ 青山学院大学教育人間科学部

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B35: 背景音楽が隠匿情報検査に及ぼす影響**

大杉朱美 福山大学人間文化学部



**B36: White lie をつく過程における心理・生理的ストレス**

渡邊志保 KSB 瀬戸内海放送

井原駿 神戸大学大学院国際文化学研究科

田中秀樹 広島国際大学健康科学部

古谷真樹 神戸大学大学院人間発達環境学研究科

**B37: 急性ストレス反応の長期的作用が随伴性学習に及ぼす影響**

山川香織 東海学園大学心理学部

**B38: 中学生における携帯電話の使用と Go/NoGo 課題時の ERP の関連：北海道スタディ**

山崎圭子 北海道大学環境健康科学研究教育センター

田村菜穂美 北海道大学環境健康科学研究教育センター

宮下ちひろ 北海道大学環境健康科学研究教育センター

池田敦子 北海道大学保健科学研究院

岸玲子 北海道大学環境健康科学研究教育センター

**B39: 炭酸水の飲用は e スポーツプレイヤーの認知疲労を軽減する**

高橋史穂 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

川元彩人 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

峰勇仁 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

吉武誠司 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

松岡弘樹 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

高木祐多 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

小杉亘 アサヒ飲料株式会社

水野征一 アサヒ飲料株式会社

松井崇 筑波大学 スポーツイノベーション開発研究センター

**B40: 依存行為観察時のミラーシステム活動：スマートフォン依存に着目した研究**

申鬯敬 九州大学統合新領域学府

海野真乙 九州大学芸術工学部

上村結芽子 九州大学統合新領域学府

元村祐貴 九州大学芸術工学研究院

樋口重和 九州大学芸術工学研究院

**B41: 幼児の行動特性と選好判断時の視線探索過程との関連**

勝二博亮 茨城大学教育学部

慶野葵 茨城大学教育学部

中村俊介 茨城大学教育学部

田原敬 茨城大学教育学部

**B42: 競泳選手の内受容感覚と内的注意との関連性（第2報）**

水野寛太 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

正木宏明 早稲田大学スポーツ科学学術院

**B43: 短時間の運動が注意の維持／選択的注意に与える影響について**

宇野英樹 北星学園大学社会福祉学部

村加巨翼 東京農業大学生物産業学部

長谷川将矢 東京農業大学生物産業学部

六車天昂 東京農業大学生物産業学部

中里真子 東京農業大学生物産業学部

長沼優月 東京農業大学生物産業学部

後藤広太郎 東京農業大学教職課程

**B44: ABR に注意修飾効果が検出される頭皮上電極配置：両耳分離聴による検討**

池田一成 東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター

## 賛助企業・団体ご芳名

### (協賛・広告・展示)

日本生理心理学会賛助会員

株式会社 北大路書房

株式会社スペクトラテック

ニホンサンテック株式会社

株式会社フィジオテック

株式会社ミユキ技研

---

イーストメディック株式会社

エムピージャパン株式会社

株式会社クレアクト

株式会社 スキノス

ゼロシーセブン株式会社

ティアック株式会社

東海光学株式会社

トビー・テクノロジー株式会社

メディカルテクニカ有限会社

### 後援

学術集会開催補助

慶應義塾大学

(会員種別に五十音順・敬称略で掲載いたしました)

本大会を開催にするにあたり、上記企業・団体各位より多大なご支援をいただきました。  
ここにそのご芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2023年5月  
第41回日本生理心理学会大会  
大会長 梅田聡

# Spectratechの 光イメージング脳機能 測定装置のラインアップ

独自開発したスペクトラム拡散変調方式により、  
**高性能、小型、低価格**を実現しました。

## 脳研究向け製品

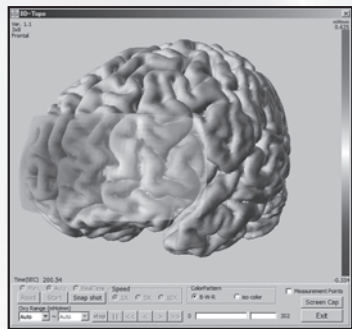
### ● Spectratech OEG-17APD

全頭測定型functional NIRS装置です。生体内のヘモグロビンが酵素との結合により、変化する近赤外光から赤光近辺での吸光特性を利用し、生体内の血流量変化を多チャンネルにて同時計測します。光検出器に超高感度APD(アバランシェ・フォトダイオード)を採用したファイバーレスによる全頭測定型です。運動野、言語野、視覚野など多くの部位の測定に対応した高感度fNIRS装置への要望に答えるべく開発されました。目的に合わせて計測チャンネルは16ch,17ch,34ch, 37ch,51ch,57chがあります。



### ● 動画記録機能オプション VIDEO3D

Spectratech OEGシリーズオプション品です。各シリーズのアプリケーション・ソフトウェアに組み込んで動作し、ヘモグロビン変化信号の計測記録、カメラからの動画記録、オキシヘモグロビン変化データの3Dトポグラフィー表示も行えます。



### ● Spectratech OEG-16H

前頭部専用functional NIRS装置です。脳局所のヘモグロビン変化、ApparentSpO<sub>2</sub>を多チャンネル(最大16ch)で同時計測します。複数の被験者を同時測定も可能です。

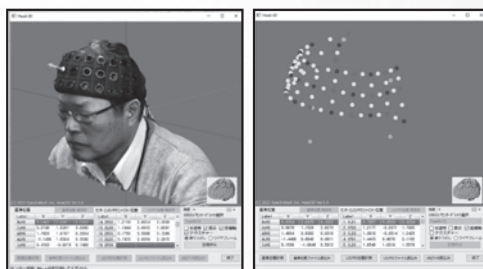


### ● OBJ用3D座標変換 ソフトウェア OEG-3DXYZ-OBJ

NEW

研究目的用Functional NIRS装置向け

iPhoneで撮影するだけで、被験者の脳賦活位置を特定するための各センサーの3D座標を得ることができます。



## 脳ヘルスケア用製品

### ● Spectratech CALM-17

おちつき度測定装置です。小学生を対象とし、注意力、多動性、衝動性を総合的に測定し、客観的なスケールで表示します。約5分の短時間で測定できます。拡張機能タイプの「Spectratech CALM-17 with fNIRS」もご用意しています。



※教育センター、保育センター、児童支援センター等向け。



# 北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com>(価格税込)

## ドムヤンの学習と行動の原理 [原著第7版]

M. ドムヤン著 漆原宏次、坂野雄二監訳 B5上製・424頁・定価7920円 学習心理学の泰斗・ドムヤンによる米国で評判のテキスト、待望の邦訳。行動の誘発、強化、制御、消去、変容に関わる学習の原理、およびその広範な活用について、神経科学の裏づけを加えつつ新たな研究知見を紹介。

## 神経神学

—科学は靈性いかに光を当てるか— A. ニューバーグ著 貝谷久宣訳 A5上製・400頁・定価6380円 人間の科学性と宗教性を活用し、自己や世界の理解を目指す神経神学。認知神経科学、心理学、哲学、医学等多様な領域と結びつき、また各領域の発展へ寄与する可能性を持つ学問——その全容を一望し、人の本質に潜む靈性の洞察へ。

## 感情心理学ハンドブック

日本感情心理学会企画 内山伊知郎監修 A5上製・480頁・定価8800円 感情に纏わる様々な研究を渉猟し現時点の到達点を示す。個人内過程、個人間の差異、さらに社会との関わり、という観点から内容を構成。自己、身体、脳、認知、発達、進化、文化、人間関係、コミュニケーション等のテーマを扱う。

## 生理心理学と精神生理学 第Ⅱ巻 応用

堀 忠雄、尾崎久記監修 片山順一、鈴木直人編集 B5・416頁・定価5060円 応用的知見として心理学各領域への適用を扱う。感情・情動、認知、社会・健康、睡眠、犯罪、スポーツ領域における最新の成果を示しつつ、基礎的知見にも言及。測定技術および解析について詳述することで、読者の理解を図る。動物実験に関しても、コラムで紹介する。

## 記憶現象の心理学

—日常の不思議な体験を探る— A. M. クリアリー、B. L. シュワルツ編 清水寛之ほか訳 A5・560頁・定価6380円 デジャヴ現象や「喉まで出かかっているのに出てこない」状態等、人間の記憶の不思議な現象に焦点を当て、逆照射的に記憶のメカニズムに接近。これまでの研究知見に疑問を呈する。

## 感情制御ハンドブック

—基礎から応用そして実践へ— 有光興記監修 飯田沙依亜、榊原良太、手塚洋介編著 A5上製・432頁・定価6160円 本邦で展開されてきた多彩な感情制御研究を一望できる書。基礎理論に始まり、社会・人格・認知・発達・臨床・教育、さらには経済・司法・労働までの各分野における最新知見を8部31章21トピックで紹介。

## 生理心理学と精神生理学 第Ⅰ巻 基礎

堀 忠雄、尾崎久記監修 坂田省吾、山田富美雄編集 B5・320頁・定価4180円 第Ⅰ巻では生理心理学の歴史的な経緯も含め、主に研究法の基礎的内容を扱う。脳とそれ以外の生体反応を区分し、その測定技術および解析の仕方について詳述する。基礎的知見の体系的理解を得るために国家資格試験の試験対策としても好適。Ⅱ巻応用、Ⅲ巻展開の全3巻。

## 生理心理学と精神生理学 第Ⅲ巻 展開

堀 忠雄、尾崎久記監修 室橋春光、亭阪満里子編集 B5・380頁・定価5060円 第1部ではワーキングメモリやデフォルトモードネットワークを中心に、脳のはたらきに関する最新の成果を紹介。第2部以降では発達・教育・臨床各領域への展開として、乳幼児の前頭葉の発達、読み書き処理、統合失調症の脳波、ADHDの注意機能と実行機能などを扱う。

心理学って面白そう！  
どんな仕事で活かされている？

シリーズ **心理学と仕事** (全20巻) **完結!** シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148～232頁・定価2200～2530円

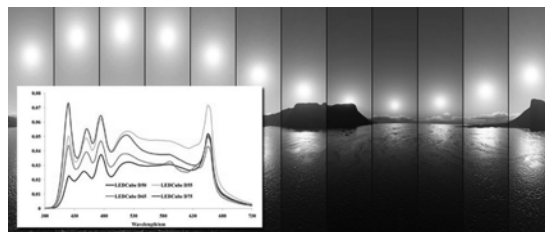
- |             |            |            |             |                |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学  | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学    | 4 学習心理学     | 5 発達心理学        |
| 6 高齢者心理学    | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学    | 9 知能・性格心理学  | 10 社会心理学       |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学   | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学    | 15 障害者心理学      |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学   | 18 交通心理学   | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |



### SPD 照明環境シミュレート光源 LEDCube

独自の最適化アルゴリズムとマルチチャンネルLEDテクノロジーに基づく革新的なスペクトル調整可能照明製品です。

異なる分光分布（SPD）でのあらゆる照明環境シミュレーションを簡単に正確に実現にする「照明環境シミュレート光源」で、現在のところ世界で唯一の商業利用向けLED照明機器です。



### 据置き型500Hzアイトラッキング LiveTrack

LiveTrack Lightningは、視線の方向や回転、瞳孔の大きさを正確に読み取ることができる、眼球運動研究に理想的なアイトラッキング機器です。



### ワイヤレスマルチモニター BioRadio

脳波、心電図、筋電図、皮膚発汗、呼吸、体温、SpO2 など様々な生体信号を無線で取得またはSDカード内に保存可能です。

バッテリー駆動で8時間記録が行えます。



### グラス型アイトラッカー-NEON

キャリブレーション不要で視線計測が可能なPupilLab製品にフレーム交換が可能なモデルが追加されました。

サンプリングレート：200Hz（シーンカメラは30Hz）

視野角：水平132度、垂直81度

Cloud上で瞳孔径出力が可能（2023年後半予定）

**Physio-Tech**  
株式会社フィジオテック

Web: <http://www.physio-tech.co.jp>

**NAMOTO** Co.,Ltd.  
株式会社NAMOTO

Web: <https://www.namoto.com>

発汗の基礎研究はもちろん、情動や快適性の指標として。

# 発汗様相を可視化する 唯一のテクノロジー。

換気カプセル型  
発汗計

## SKN-2000M

安全性の高いスタンダードタイプ。  
2ch据え置き型発汗計。



- 高応答、広ダイナミックレンジ
- 見やすい液晶ディスプレイ
- デジタル出力
- 記録解析ソフトウェア付属
- 2chで2箇所同時測定可能

承認番号21600BZZ00433000

発汗センサ

## SKW-1000

換気カプセル型発汗計の原理を利用した  
ウェアラブルセンサ。



- 日常生活や運動中の局所発汗量を無拘束で計測可能
- 皮膚装着センサ部のみ交換することも可能
- PCはもちろん、Androidスマートフォン・タブレットを用いたデータ記録が可能

※本機は研究用機器です。臨床用途ではご利用いただけません。  
※本機は簡易な発汗センサです。

### SKINOS

株式会社スキノス/スキノス東御研究所

お問合せ先

TEL : 0268-75-9071 FAX : 0268-75-9072

E-mail : info@skinoss.co.jp URL : http://www.skinoss.co.jp





## 第 41 回 日本生理心理学会 大会準備委員会

大会長 : 梅田 聡 (慶應義塾大学)  
事務局長 : 北 洋輔 (慶應義塾大学)  
プログラム委員会 : 寺澤 悠理 (慶應義塾大学)・大隅 尚広 (千葉大学)

### 委員 :

白川 由佳 (慶應義塾大学)  
辻 幸樹 (慶應義塾大学)  
田仲 祐登 (慶應義塾大学)  
品川 和志 (慶應義塾大学)  
廣康 衣里紗 まり (慶應義塾大学)  
石川 直樹 (慶應義塾大学)  
鈴木 菜穂 (慶應義塾大学)  
王 馨怡 (慶應義塾大学)  
櫻木 麻衣 (慶應義塾大学)  
越後 くるみ (慶應義塾大学)

### 連絡先

慶應義塾大学文学部心理学専攻  
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45  
E-mail : jspp2023-group@keio.jp

### 表紙・ロゴデザイン :

大森 貴秀(慶應義塾大学)



第 41 回日本生理心理学会大会プログラム

発行日 2023 年 5 月 15 日

発行者 第 41 回日本生理心理学会 大会準備委員会

印刷 慶應義塾大学出版会株式会社



# 唾液中ストレスマーカー分析装置 SOMA Cube Reader



英国より高性能低価格な小型 Lab が登場！  
サンプルの冷凍保存は必要ありません  
現場で素早くリアルタイム測定！

4種類のパラメーター分析

- ☆ コルチゾール
- ☆ sIgA (免疫グロブリン A)
- ☆ sIgG (免疫グロブリン G)
- ☆  $\alpha$ -アミラーゼ



- 日常生活のストレスと免疫力を手軽にチェック！
- 免疫機能の追跡評価に！
- 職場におけるストレスチェック、メンタルヘルス対策に！

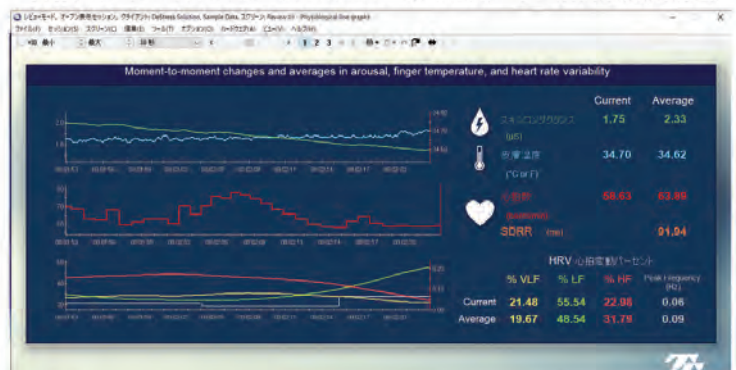
～ウェアラブル・ストレス分析・バイオフィードバック装置～

## トリプルセンサー eVu TPS



- ♥ 心拍変動 (HRV)
- 🖐️ スキンコンダクタンス (汗)
- 🌡️ 皮膚温度

専用アプリ DeStress Suite にてリアルタイム解析機能付き



Contact:



エムピージャパン株式会社

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-1-15

TEL:03-3839-7557 FAX:03-3839-7655

www.mpjapan.co.jp e-mail: info@mpjapan.co.jp

## 経頭蓋電気刺激装置 【基礎医学研究用機器】

# Neurostim

### 小型の経頭蓋非侵襲性電気刺激デバイス

- コンパクトな本体とバッテリー駆動による高い携帯性
- USB経由でPCに接続して詳細な刺激設定が可能
- 二重盲検刺激のための研究モード
- 最大250セッションのメモリ
- 刺激中の電極インピーダンスをモニター

#### 刺激タイプ

- tDCS(経頭蓋直流刺激)
- tACS(経頭蓋交流電流刺激)
- tRNS(経頭蓋ランダムノイズ刺激)
- tDSC-Sham(経頭蓋直流刺激+シャム)
- tPCS(経頭蓋パルス電流刺激)
- カスタム波形(tACS)  
ホワイトノイズ波形など読み込んで刺激できます



## ワイヤレス脳波キャップ

# Neuro-DCCap 【基礎医学研究用機器】

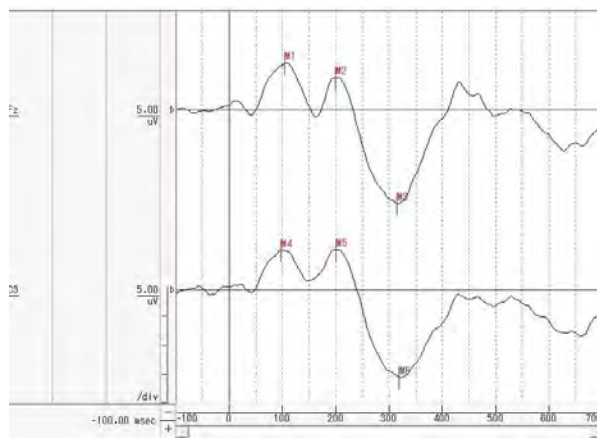
### 取外し可能な電極を配置した脳波計測用電極キャップに装着する軽量・小型のワイヤレス脳波計

- 生体医学および研究用途のための16ch(or 8ch) DC EEGアンプ
- 24 bit分解能 サンプルング 1000Hz
- PCとBluetooth通信でデータ収録
- 電極の配置の変更可能
- 頭囲24cmから66cmまで12サイズのキャップ
- 高品質なAg/AgCl 焼結電極
- トリガー入力ボックスや延長ケーブルのオプションを用意
- ポリグラフ計測も可能 (EEG, ECG, EOG, EMGなど)

- 付属のソフトウェアは、脳波やイベントを様々なフォーマット (EDF+16 bit, BDF+ 24 bit, GDF 32 bit) で記録したり、ストリームLSL (Lab Streaming Layer) でオンライン転送できます。
- データの解析には 別途解析用ソフトウェアが必要になります。



トリガー入力ボックス



P300波形

**EMC**  
East Medic Corporation

**イーストメディック株式会社**

〒920-0062 石川県金沢市割出町702番2

TEL: 076-239-4761 FAX: 076-239-1771 URL: <http://www.east-medic.jp>